

野外環境対策活動 感染症対策ガイドライン

2020年7月7日作成
2020年11月13日改訂
2022年4月5日改訂



1. iPledge事務局の対策

1-1 参加者の把握と、連絡体制

○参加者の把握と個人情報の収集

- ・コアスタッフおよびボランティアの名前、連絡先、緊急連絡を収集し、参加日ごとにまとめた、名簿を作成する。
- ・収集した個人情報は、新型コロナウイルス等感染症の感染拡大を防止するために必要に応じて、保健所等行政機関へ提供されることがある旨を伝える。

○参加者の体調管理

- ・集合した時に非接触式体温計で検温し、名簿に記入する。

○連絡体制の確認

- ・感染の予防や、感染の疑いのある者が発生した時のために、速やかな連携が図れるよう、地域の保健所や病院、使用している施設の管理者などをまとめた名簿を作成する。

1-2 オフィスや倉庫の使用にあたって

○オフィス・倉庫の使用時間

感染状況や社会情勢に応じて、下記の要領で対応する。

	オフィス 利用人数	オフィスの 利用時間※	オフィス物品の 消毒※
1	20名まで	23時まで	MTG時で人が集まるタイミングなど、 節目ごとに心がける
2	8名まで	22時まで	必ず行う
3	6名まで	20時まで	必ず行う
4	原則使用しない	—	(オフィス利用する場合は必ず行う)

※職員は必要があれば柔軟に対応する

※ドアノブ、机、窓の引き手部分、オフィスの固定電話など

*その他の屋内：施設の基準に基づく

*その他の屋外：人との間隔をできるだけ2m（最低1m）開けられる範囲

○机椅子の配置

- ・対面にならないよう工夫し、距離を確保する。

○車の使用時

- ・車内ではマスクを着用し、窓を開ける。

1-3 感染予防の徹底

○換気

- ・可能な限り常時換気を心がけ、窓やドアを解放する。
- ・エアコン使用時は2時間を目安に換気し、空気を入れ替える。

○手洗い・アルコール消毒の呼びかけ

- ・こまめに石鹸を使用した手洗いか、手指のアルコール消毒を行う。
(集合した時、休憩で外出した後、食事の前後、活動の前後、建物に入ったときなど)
- ・コアスタッフに対しても、都度手洗い・消毒を呼びかける。

○マスクの着用

- ・食事中・入浴中・熱中症の危険がある場合以外はマスクを着用する。
- ・咳エチケットを徹底する。

1-4 コアスタッフやボランティアの感染が疑われる場合には

- ・感染が疑われる者を必要に応じて直ちに帰宅させる。
- ・感染が疑われる人が滞在した部屋を換気する。
- ・東京都発熱相談センター（03-5320-4592）、または管轄の自治体に連絡して指示を受ける。
- ・イベント会場での活動時は、主催者に報告相談し対応する。

※ NPO(非営利活動団体)活動総合保険について

NPO iPledgeでは、活動における危険を総合的にカバーする、NPO団体専用の総合保険に加入しています。新型コロナウイルス感染症に対しては、感染症見舞金補償保険に加入しています。活動が原因となって感染症に罹患した場合には、お見舞金をお渡しします。

※ 個人情報の取り扱いに関して（NPO iPledge プライバシーポリシー）

NPO iPledgeでは、「個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）」に基づき、個人情報の取扱いについて、プライバシーポリシーを設けています。

NPO iPledgeは、活動に参加される皆さんから同意を頂いた上でお住まいの地域や年齢、メールアドレス等の個人情報を収集させていただくことがあります。提供いただいた個人情報は、活動の案内・手配・連絡などの効率化に利用させていただきます。また、匿名化、あるいは個人情報と切り離して統計化した上で、今後の活動の改善や調査に活用させていただきます。

また、上記目的のほか、新型コロナウイルス等による疾病が発生した場合において、感染拡大防止のために参加者への必要な連絡を行う目的で利用することがあります。また、感染拡大防止のため、保健所、厚生労働省その他の公共機関に対して、参加者の個人情報を第三者提供することがあります。加えて、感染拡大防止のため、参加者の情報のうち、当該情報のみでは直接特定の個人を識別することができない情報を、他の参加者に第三者提供し、または、弊団体ウェブサイト等において公表することがあります。

情報は上記目的以外の用途には利用しません。また、iPledge以外の組織（企業、宗教、名簿業者など）に個人情報を提供することは、一切ありません。取り扱いに関して、疑問・質問がありましたら、iPledge事務局までお問い合わせください。

2. コアスタッフ向け対策：活動に参加する前に

2-1 家を出る直前に、体調CHECK！

以下に該当する場合は、活動に参加せず、
東京都発熱相談センター（03－5320－4592）、または管轄の自治体相談してください。
またその結果を、担当職員に報告してください。

- ・ 37.5度以上の発熱がある場合
- ・ 平熱比＋1度以上の発熱がある場合
- ・ 息苦しさ（呼吸困難）
- ・ 強いだるさがある場合
- ・ 軽度であっても咳咽頭痛などの症状がある場合
- ・ その他体調が優れない場合

上記のほか、以下に該当する場合は、活動に参加することはできません。

- ・ 過去2週間以内に、感染が引き続き拡大している国・地域へ訪問したことがある場合
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人が判明した場合

2-2 オフィス/倉庫/会場への往復

- ・ 体調がすぐれないと思ったら、参加しない。
- ・ 電車やバスなど、公共交通機関で移動するときは、マスクを着用し、咳エチケットを徹底する。

3. コアスタッフ向け対策：ミーティング時に気をつけること

3-1 距離をとろう！

- ・対面にならないよう工夫する。
- ・列に並ぶときは、前後に十分なスペースをとる
- ・人との距離を最低 1m(できるだけ 2m以上)確保することを意識して行動しよう。

3-2 マスクと手洗い

○マスク

- ・食事中を除きマスクは常時着用する。
- ・マスクは不織布のものを推奨。

○手洗い

こまめに石鹸で手洗い、難しい場合にはアルコール消毒する。

- ・オフィス/倉庫/活動場所に到着したとき
- ・食事前やトイレの後
- ・調理するとき

3-3 自分の使うものは自分で管理

- ・備品や機材は 1 日を通じて同じ人が使用するなど、なるべく使い回しをせず、複数のスタッフが共有することを最小限にする。
(ペン・バインダーなどの文具類、リユースカップ・皿など食器類など活動備品)
- ・事務局で用意している文具や食器、その他備品を使用したくない場合は、各自が持参する。
(ペン、タオル、水筒、マスク、アルコール消毒液、箸、コップ、皿など)

3-4 その他

○トイレ

- ・蓋を閉めて汚物を流す。

○調理する場合

- ・調理に使用する機材はアルコール消毒をする。

○食事中

- ・食事中は黙食を徹底する。

4. コアスタッフ向け対策：野外での活動時における対策

4-1 マスクの着用

マスクは水分補給などの飲食時以外は原則着用して活動します。
不織布のマスクを推奨する。

※マスクは使い捨てのものを予備として事務局で用意しますが、活動中に何度か交換したい人や、より高性能なものを使用したい人は各自で用意してください。

4-2 手洗い、またはアルコール消毒

手洗い、または手指のアルコール消毒はこまめに行いましょう。
以下のタイミングを基本として、活動ごとに確認します。

- ・ごみ袋を交換し終えた時
- ・ごみ袋を運搬し終えた時
- ・休憩を終えて活動に戻る時
- ・本部に入る時
- ・トイレの利用後
- ・宿泊場所に到着したとき

5. エコステーションでの活動にあたって

5-1 分別ナビゲート

- ・来場者がエコステーションの前で分別を行う時間を短縮するために、分別の手順や内容（例：ペットボトルのキャップとラベルは分別するなど）を記した看板を作成する。
- ・エコステーションで活動する際は、原則フェイスガードを着用する。
（熱中症の危険性がある場合はその限りではない）
- ・来場者がごみを捨てている最中は、ごみ箱から一歩下がる。
- ・エコステーション内で待機している時は、2mを目安に最低1mの距離を保つ。
- ・ごみ箱の中に捨てられたごみは、誰が捨てたごみかに関わらず、再分別は原則行わない。
ただし、ごみに直接手が触れる危険性がなく、 tong で再分別ができる場合は再分別を行う。

5-2 ごみ袋の交換

- ・ごみ袋は、ごみ箱の容量の7割を目安に交換する。
- ・ごみ袋の交換は以下の手順で行う。
 - 1、マスクとフェイスガードを着用する。
 - 2、ごみ袋の口を静かに丸めて結ぶ。
 - 3、新しいごみ袋を、ごみ箱に取り付ける
 - 4、手を洗うか、アルコール消毒をする。

5-3 ごみ袋の運搬

- ・ごみ箱で回収したごみや資源は、集積所まで運搬する。袋は破裂しないように、丁寧に扱う。
- ・カラス等に荒らされ、ごみが散乱しないように、シートなどを使って養生する。

6. ボランティアの受け入れにあたって

6-1 ボランティアに守ってもらう4つの原則

- 1、元気な状態で参加する。
発熱やのどの痛みなどの症状がある場合には参加することができません。
活動中でも体調が悪くなった場合にはコアスタッフに知らせてください。
- 2、マスクは常に着用
食事や水分補給時以外は、原則として常に着用してください。
- 3、距離を保とう
集合する際やエコステーションでの活動の際は、最低1m距離を保てるよう心がけよう。
- 4、こまめに消毒、節目に手洗い。
活動中はアルコールでの消毒、活動を終えて本部に戻る際や休憩時間の前後は手洗いしよう。

6-2 はじまりの会／帰りの会／活動時間前後のアナウンス

- ・集合時に、手指のアルコール消毒と検温を行い、名簿に記録する。
- ・はじまりの会／帰りの会や活動時間前後のアナウンス時には、密にならない場所で説明を行う。
- ・ボランティアが集合したり並んだりするときには、距離をとるよう呼びかける。
- ・配布物はコアスタッフが配るのではなく、ボランティア自身取る。
- ・説明の際には、大声を出さずに拡声器を使用する。

○集合時のアナウンス

- ・体調の確認
- ・手洗いしているか確認
- ・マスクの着用と、フェイスシールドを持っているか確認

○解散時のアナウンス

- ・体調の確認
- ・フェイスシールドは他人のものと間違わないように名前を書き、管理する。

6-3 その他

○食事

- ・マスクを外している時は、黙食を徹底する。
- ・食事の際は密にならないで食べるよう促す。（会場の休憩スペース等を活用するなど）
- ・本部で食べる場合には対面にならないようレイアウトを工夫する。

7. 本部(活動拠点)の運営にあたって

7-1 備品の取り扱い

- ・拡声器は、使う人が変わる度に、アルコールで湿らせたティッシュなどで消毒する。
- ・他者のトランシーバーを扱う際は、作業した人が自身の手を消毒する。（充電や回収の際など）
- ・その他複数のスタッフが共通で触る可能性のあるものについては、
備品を消毒または作業した人自身が手洗い・消毒する。
- ・各コアスタッフ・ボランティアのフェイスシールドは、他人のものと間違わないように管理する。

7-2 アルコールの設置と定期消毒

○下記の場所にアルコールを設置し、手指の消毒を呼びかける。

- ・コアスタッフの机の上
- ・コアスタッフ・ボランティアの出入り口（本部に入る際に手指の消毒）
- ・ジャグの横（ジャグから給水する際に手指の消毒）

○定期的に消毒するもの

- ・コアスタッフの机
- ・コアスタッフ用お菓子の容器・蓋
- ・ジャグの取手
- ・ボランティアの荷物置き場（1日の活動終了時のみ）
- ・その他、本部で複数の人が触る備品

8. 感染したかも、と思ったら

- ・活動場所まで来る途中や、活動中に体調が優れなくなった場合は、速やかに担当職員に相談すること。
- ・活動前後にかかわらず、感染が疑われる症状が発症した場合はiPledgeに報告してください。

参考文献

- ・新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

- ・業種ごとの感染拡大予防ガイドラインに関する留意点

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/file/attachment/562504.pdf>

- ・ボランティア向け研修等における 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

<https://www.volasapo.tokyo/wp-content/uploads/2020/06/ボランティア向け研修等における感染拡大ガイドライン.pdf>

- ・廃棄物処理業における新型コロナウイルス対策ガイドライン

http://www.env.go.jp/recycle/waste/sp_contr/infection/corona_guideline.pdf

感染の疑いがある場合

対応が必要な症状例

- ・息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続いている場合。
- ・重症化しやすい方（高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ・上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続き心配な場合。

発熱等の症状が生じた際の連絡先

【東京都発熱相談センター】

03-5320-4592 土日祝含む24時間対応

【神奈川県】

横浜市 045-550-5530 24時間（毎日）

川崎市 044-200-0730 24時間（毎日）

相模原市 042-769-9237 24時間（毎日）

横須賀市 046-822-4308 8:30から20:00（平日） 9:00から17:00（土曜・日曜・祝日）

藤沢市 0466-50-8200 9:00から21:00（毎日）

茅ヶ崎市/寒川町 0467-55-5395 9:00から19:00（平日） 9:00から17:00（土曜・祝日） 日曜日休み

神奈川県 上記以外 0570-056774 24時間（毎日）

【埼玉県】

埼玉県受診・相談センター 048-762-8026 9:00から17:30（毎日）

埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター

0570-783-770 24時間（毎日）

※普段から通っている病院（かかりつけ医）がある場合は、そちらでも対応可能です。

感染の疑いがあり検査を受けたとき

◆PCR検査の結果が陽性の場合

- ・保健所及び、医療機関の指示に従ってください。
- ・事務局に感染の旨を報告してください。

※承諾書に記名された保護者・同居人へ、状況を説明する為に事務局から連絡する場合があります。

◆PCR検査の結果が陰性の場合

- ・保健所及び、医療機関の指示に従ってください。
- ・症状が回復した時点で、事務局に連絡してください。

◆濃厚接触者に指定された場合 同居人のPCR検査の結果が陽性だった場合

- ・濃厚接触者に指定された場合、感染者との最終接触日から7日間は、対面での活動に参加できません。
- ・保健所の指示や、お住まいの地域のルールに従って過ごしてください。
- ・濃厚接触者に指定された旨を事務局に報告してください。

陽性者が発生した場合のiPledge事務局の対応

◆感染可能期間の確認

陽性者に症状がある場合は症状（発熱・咳など）が出た日の2日前以降、症状がない場合は検体採取日の2日前以降に、対面で活動に参加していたかどうかを確認する。

対面での活動に参加していた場合、短時間でも接触があった人を特定しリストアップする。

◆濃厚接触者の確認

感染可能期間に、陽性者と以下のような接触がある方は濃厚接触者とみなします。

- ・陽性者と同居している方（陽性者の同居者）
- ・長時間の接触があった方（車内、航空機内などを含む。）
- ・適切な感染防護なしに陽性者を診察、看護もしくは介護していた方
- ・陽性者と1メートル以内の距離で、必要な対策（マスクなど）無しで15分以上接触（会話など）していた方
（国立感染症研究所「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」より）

◆濃厚接触者への対応

- ・濃厚接触者に該当すると考えられる場合、本人に連絡します。
- ・必要に応じて、状況を説明する為に事務局から承諾書に記名された保護者・同居人へ連絡する場合があります。

◆その他の対応

- ・主催者や、連携団体、使用施設などに状況を連絡します。
- ・イベントでの活動やミーティングなどで一緒に活動したボランティア・コアスタッフに、陽性者が発生した旨を連絡します。